



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東
コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員 （氏名） 盛田 賀容子
問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員社長補佐 （氏名） 中川 真二 TEL 06-6202-6598
兼 企画管理本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,236	△1.8	442	△34.0	328	△60.2	330	△51.6
2025年3月期第3四半期	24,693	2.5	670	—	825	171.3	683	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,504百万円（46.1％） 2025年3月期第3四半期 1,029百万円（△17.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	8.87	—
2025年3月期第3四半期	18.32	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	41,160	20,554	46.9	518.31
2025年3月期	37,519	18,995	47.4	477.07

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 19,323百万円 2025年3月期 17,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.0	900	8.6	750	△37.3	550	5.3	14.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規：2社 (社名) NJC Europe Ltd., NJC America Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	37,286,906株	2025年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,523株	2025年3月期	4,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	37,282,660株	2025年3月期3Q	37,283,033株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、トランプ関税によるマイナス効果や人手不足による供給制約、物価高の影響が見られたものの、堅調な個人消費や設備投資を背景に緩やかな増加基調となりました。中国では不動産不況の長期化や個人消費の低迷により経済成長の鈍化が見られたものの、米国を中心とした旺盛なAI関連投資の拡大やトランプ関税による影響が緩和したことを背景として、世界経済全体では底堅い成長を維持しております。国内化学業界におきましては、AI投資を中心とした半導体や電子材料向けの市場拡大はあるものの、国内市場の縮小や海外からの輸入品との競合、原料価格の上昇により、厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、最終年度となる5か年の中期経営計画（2021年度～2025年度）の完遂に向け、グループ一丸となって事業活動を推進してまいりました。特に成長戦略の柱として、樹脂成型における生産効率向上に寄与する樹脂添加剤や脱炭素社会に向けたバイオマス由来原料を活用した幅広い新製品、「RiKANATURA®シリーズ」、「グリーンサイザー®シリーズ」等の開発及び市場展開を積極的に推進してまいりました。当該製品は顧客からの高い関心を集め、採用実績も着実に増加しておりますが、研究開発費負担や量産効果の未発現により、現時点では収益への寄与は限定的にとどまっております。

一方で、当社の収益基盤である汎用化学製品分野におきましては、海外メーカーによる安価な輸入品の流入激化が続いております。当社としては、生産工程の効率化によるモノづくり力の更なる向上を図るとともに、コスト上昇分を反映した適正価格での販売維持に努め、収益性の確保に注力いたしましたが、当第3四半期の営業利益は前年同期を大きく下回り、厳しい決算となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は242億3千6百万円（前年同四半期比1.8%減）となり、損益面では、営業利益4億4千2百万円（前年同四半期比34.0%減）、経常利益3億2千8百万円（前年同四半期比60.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億3千万円（前年同四半期比51.6%減）を計上する結果となりました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

トイレタリー向け界面活性剤は、パーソナルケア製品の高付加価値化が進み、これに伴う高機能原料の需要が堅調に推移しております。一方で、主力の汎用品においてはアジア地域から流入する安価品との競合により、数量、売上高ともに前年を下回りました。また繊維油剤原料をはじめとする工業向け天然高級アルコールは、原料価格の高騰に加え、東南アジアや中国メーカーによる輸入品の流入激化により、極めて厳しい市場環境で推移いたしました。この結果、販売数量は前年同期並みにとどまったものの、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

主に床材や壁紙、電線被覆材などの建築部材に使用される汎用可塑剤は、建設資材価格の高騰や人手不足に伴う工期長期化、及び実質賃金の伸び悩みによる住宅取得マインドの低下を受け、新設住宅着工戸数が低迷しており、力強さを欠く展開となりました。また中国をはじめとする安価な輸入品流入の影響を受け、当四半期は数量・売上高ともに前年を下回りました。

ポリオレフィン樹脂成形物向け添加剤は、当社の主要マーケットである欧州において、エネルギー価格の高止まりや高金利政策の影響による製造業の投資意欲減退が続く、景気回復の足取りが極めて重い状況で推移する中、アジアメーカーによる低価格な製品の流入が増加した影響により、数量、売上高ともに前年を下回りました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末比9.7%増となり、金額で36億4千1百万円増加の411億6千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が増加したことなどにより、前期末比18.0%増、金額で31億7千2百万円増加の207億5千6百万円となりました。固定資産につきましては、保有株式の時価が上昇したことなどにより、前期末比2.4%増、金額で4億6千9百万円増加の204億3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前期末比11.6%増、金額で10億5千万円増加の101億2千7百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の増加などにより、前期末比10.9%増、金額で10億3千2百万円増加の104億7千8百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末比8.2%増、金額で15億5千8百万円増加の205億5千4百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は46.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,942	5,552
受取手形及び売掛金	7,570	8,019
電子記録債権	1,283	1,386
商品及び製品	2,940	3,051
仕掛品	1,645	1,452
原材料及び貯蔵品	863	1,073
その他	340	223
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,584	20,756
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	5,052	4,783
有形固定資産合計	9,334	9,065
無形固定資産	28	84
投資その他の資産		
投資有価証券	9,950	10,663
退職給付に係る資産	278	287
その他	343	303
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,571	11,253
固定資産合計	19,934	20,403
資産合計	37,519	41,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,088	6,045
短期借入金	270	340
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,068
未払法人税等	110	49
賞与引当金	356	155
その他	1,150	1,468
流動負債合計	9,076	10,127
固定負債		
長期借入金	4,760	5,442
役員退職慰労引当金	64	69
退職給付に係る負債	1,711	1,660
資産除去債務	827	793
その他	2,083	2,513
固定負債合計	9,446	10,478
負債合計	18,523	20,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	4,539	4,897
自己株式	△0	△1
株主資本合計	14,274	14,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,090	4,165
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	365	472
退職給付に係る調整累計額	58	51
その他の包括利益累計額合計	3,511	4,690
非支配株主持分	1,209	1,230
純資産合計	18,995	20,554
負債純資産合計	37,519	41,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	24,693	24,236
売上原価	20,541	20,210
売上総利益	4,151	4,026
販売費及び一般管理費	3,481	3,584
営業利益	670	442
営業外収益		
受取配当金	155	168
持分法による投資利益	125	—
為替差益	—	9
受取保険金	42	16
その他	61	27
営業外収益合計	384	222
営業外費用		
支払利息	36	48
持分法による投資損失	—	133
為替差損	20	—
その他	173	155
営業外費用合計	230	336
経常利益	825	328
特別利益		
投資有価証券売却益	1	109
特別利益合計	1	109
特別損失		
投資有価証券売却損	—	16
特別損失合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	826	421
法人税、住民税及び事業税	82	93
法人税等調整額	22	△37
法人税等合計	104	55
四半期純利益	722	365
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	683	330

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	722	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	1,075
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	△7	32
退職給付に係る調整額	△6	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	96	33
その他の包括利益合計	307	1,138
四半期包括利益	1,029	1,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	989	1,468
非支配株主に係る四半期包括利益	39	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	583百万円	572百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。